

漫画でわかる

企業への AI導入のやり方



 GembaShift

95%のAI導入は 効果を出せていない——

分かれ目は“入れる前”。



AI導入
失敗しました…



導入から3ヶ月
社内
AIを開く社員は
ゼロになった

安くなかったのに
何がダメだったんすか…

始まりは
3ヶ月前でした

3ヶ月前

展示会で
AIを見て
シビれたんす

よしうちも全社で
AIだ！

高機能チャット
AIに社内の
規程や手順書も
読み込ませて
全社員に配布した

規程

手順書

初日は盛り上がったっす
メールの下書きに
宴会の挨拶まで

でも盛り上がったのは
最初だけでした



そして現在

毎日開く社員は
今や一桁です

世界も同じ結果

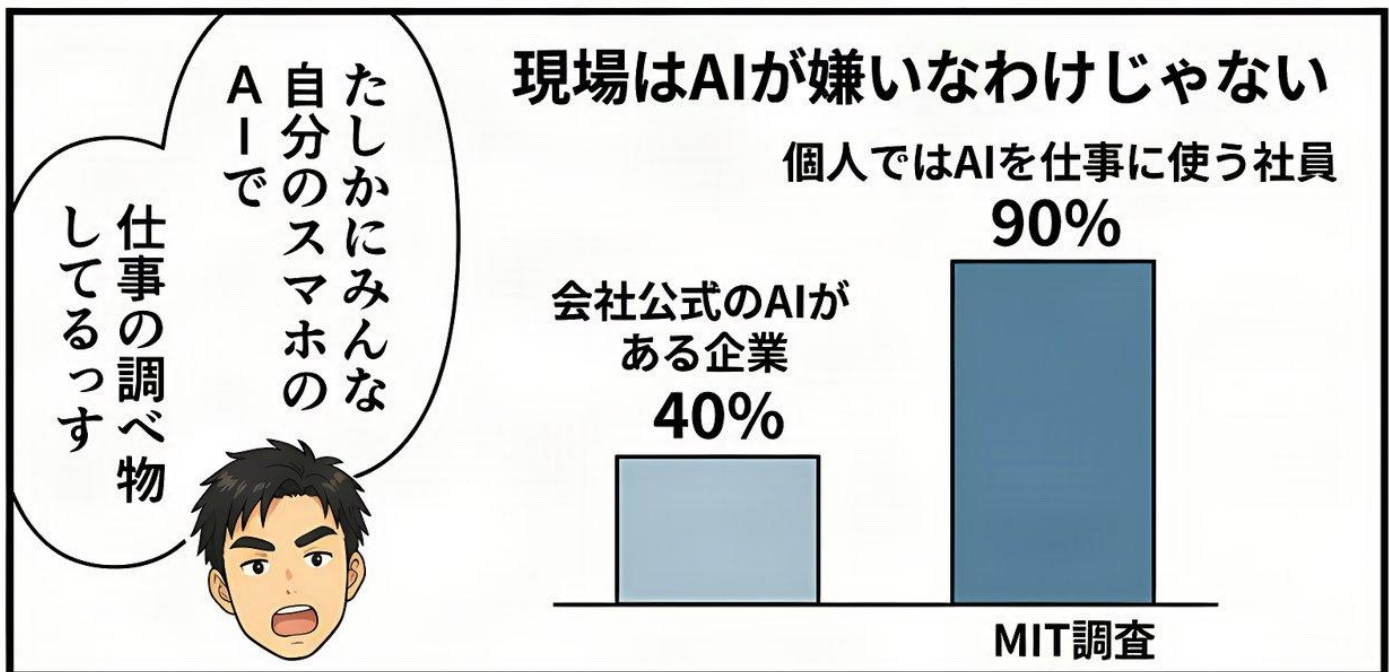
AIを導入しても
業績への効果を出せていない企業 95%
MIT調査 2025

生成AIプロジェクトの30%は
お試し止まりで断念
ガートナー予測 2024

お試し止まりで消えることを「PoC死」と呼ぶ

見かねた知人の
AIエンジニア
アオイさん

社長 その失敗
原因はほぼ一つです



AIが読めない文書たち

作業標準_最新_v2_
修正済(2).xlsx

Excel方眼紙の帳票

スキャンしただけの
検査記録PDF

あの設備のクセは
タナカさんの頭の中

RAGと言います

社内文書を
AIに検索させて
答えさせる仕組みを

放置 ← 不信 ← ウソ ← 読めない

AIではなく
文書側がほとんどです

RAGの精度が
出ない原因は

じゃあ
どうすれば…

うちの共有サーバー
まんまっす…

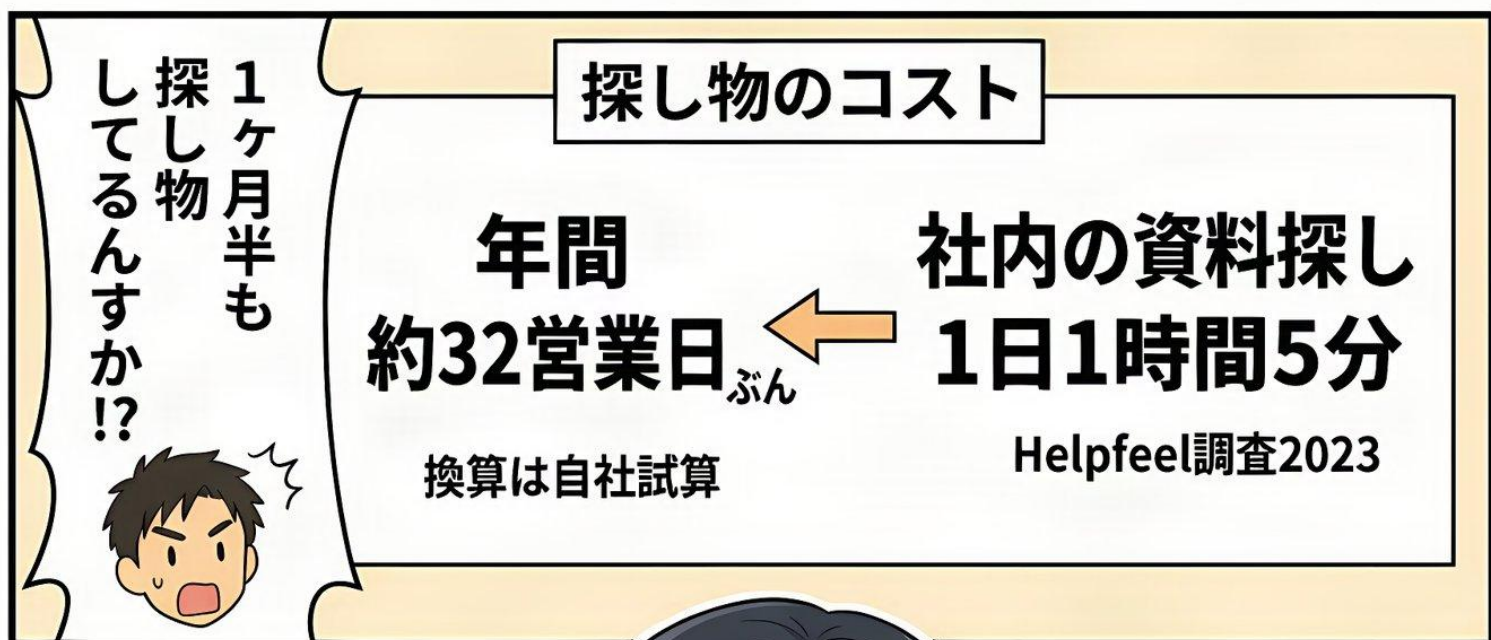
AI導入の成否は
入れる前に決まります

道具選びより先に
知識の仕込みです

順番が逆だったのか…

先に入れると
ウソ不信放置の順で

信用から先に
壊れるんです



整理もAIの仕事

- 1 最新版を見分ける — 「最新」と「最新2」が並ぶフォルダから本当の最新版を特定
- 2 別名をそろえる — A-204=エーニマルヨン=例のブラケット
- 3 表や図面を読める形に直す

AIが読める形に
文書を直す作業

それ自体を
AIにやらせるんです



使う段階の信用は
根拠で作ります

答えに必ず
出典の原文を
並べさせるんです

公差は±0.05mm
第3版で変更されています

出典 検査基準書 4.2節

原文を1分で
確認できるなら
現場も信じられるっす



大企業向けの
調査でも約6割が
AIのウソに不安
だから根拠は
必須です

最初から全部は
やらなくていいです

よく聞かれる文書を
10個だけ選んで
整えるところから



使えている会社の
9割近くは
効果を実感しています



新人が
誰にも聞かずに
自己解決してる…!

ベテランの技も
残る…って

うちのベテランの技
そもそも文書に
無いんですけど!?



文書に無い知識は
録るところから
始めます

朝礼引き継ぎ
ベテランの独り言

毎日消えている言葉が
未来の
AIの教科書です



録音を止めた瞬間に
報告書まで
できている

無料アプリも
あるんです



レコレポ

報告書が
できている ← 止める ← 話す

これなら
今日から
できるっすね

文字起こしは無料・無制限
iPhone・Android両対応

成功の順番

- 1 仕込みが先
- 2 整理はAIにやらせる
- 3 無い知識は録って貯める

順番さえ正しければ
後発でも追い抜けます



RESTART!



もう一回やるっす

今度は
仕込みからっす!



**御社の既存ナレッジを整理して
有効活用できるか 無償で試します**

- 1. 秘密保持契約(NDA)を締結**
- 2. 文書は散らかったままでOK**
- 3. 効果がなければ導入不要**

提供  **GembaShift**

御社の既存ナレッジを整理して 有効活用できるか **無償で試します**

○ 秘密保持契約(NDA)を締結 ○ 文書は散らかったままでOK ○ 効果がなければ導入不要



GembaShift ホームページ
gembashift.com



 **業務記録AIアプリ「レコレポ」**
recorepo.com — 無料で使えます

本編で使用した統計の出典

MIT Media Lab Project NANDA 「The GenAI Divide: State of AI in Business 2025」 (2025) / Gartner プレスリリース (2024年7月) / 帝国データバンク 「生成AIに関する企業の動向調査」 (2024・2026) / Helpfeel 「エンタープライズサーチに関する実態調査」 (2023、n=400) / AI inside 「生成AIの業務適応と課題に関する実態調査」 (2024、n=218)。数値の詳細な出典は当社までお問い合わせください。